

人間学専攻

人間学専攻の特色

現代はグローバル化の渦中にあり知識基盤型社会といわれる一方で、ローカリズムとの共存が問題となり、「グローバル」という造語まで登場しています。他方、その造語欺瞞性が多くの識者たちから指摘され、同時に知識循環型社会という形容が妥当という指摘もあります。いずれにしても、知識の中身・質、知識が基盤になることの意味、不幸最小限の社会の可能性を問い続け、分断を超えた「共生」原理を探求することが人間学専攻の役割といえます。

本専攻では、人間存在の基礎を哲学、倫理学、宗教学、キリスト教から学び、人間形成を教育学、認知科学から学び、人間を取り巻く社会制度や人権問題を法学から学びながら、「人間の共生」の原理を「自己の在り方」、「他者との繋がり」、「社会との関わり」という三つの位相から深く切り込んで考えていきます。同時に、研究者として自立するために、研究倫理の厳密性を身につけ修士論文を完成させていきます。

ディプロマ・ポリシー

本専攻の到達目標は、以下の能力を身につける事です。

1. キリスト教精神の深い造詣、高度な幅広い教養、分野横断的な知見、高い倫理性を有している。
2. 人間の共生に関わる幅広い課題探究、共生の原理を創出する力量を有している。
3. 共生社会の構築に向かう総合的リテラシー（情報の解釈・分析・考察・判断・表現の力量）を有している。

カリキュラム・ポリシー

1. 学位授与に相応する幅広く深い学識及び研究能力を修得できる科目群を体系的に構成する。
2. 学修課題を体系的に履修する必修科目・選択科目、特論科目・演習科目を適切に編成する。
3. 研究成果・学術情報の適切な収集、研究活動の適切な蓄積、研究報告書・研究発表の学術性、研究倫理等を修得する特別研究を設置する。

〔カリキュラムの特徴〕

1. 本専攻のカリキュラムは、必修科目と選択科目から構成され、各々「特論科目」と「演習科目」が設置されています。両者の各科目は、「人間の共生」に関わる課題探求に収斂するよう体系的に履修できます。
2. 研究指導科目の「特別研究」では、指導教員が修士論文や専門領域の研究指導に留まることなく、院生の研究領域を考慮した進路設定への支援などを行うメンターとしても関わりつつ、本専攻の有機的に関連したカリキュラムに基づく教育により、あらゆる事象の本質を見抜く質の高い素養と見識とを身につくよう指導します。

〔科目の編成〕

1. 必修科目として「人間共生特論」「人間共生演習」を設置しています。「人間共生特論」は、人間の共生に関わる諸課題を様々な研究分野の最先端の学説を学び、共生を脅かす諸問題を分析し、人間の在り方、あるべき社会を考察していきます。「人間共生演習」は、修士論文作成の基礎（修士論文の到達目標や評価に関するルーブリック）を踏まえ、様々な研究分野の学説史や研究方法を学び人間共生の原理を学んでいきます。
2. 選択科目は、人間の共生に関わる諸問題を分野横断的かつ幅広い視野で追及し、関連する分野の基礎的素養の涵養を図るとともに、学際的な分野に対応しうる能力と専門的知識を活用し応用する能力を体系的に修得できるように設置しています。
3. 研究指導科目として「特別研究」を設置しています。「特論科目」及び「演習科目」において院生が個々の研究課題に取り組む基本的な知識と研究能力を醸成しつつ、「特別研究」ではそれらを集約しながら最終的に修士論文を作成することに向けた研究指導を行います。

カリキュラム表 修士課程（人間学専攻）

人間学専攻（修士課程）

| 授業科目名 | 履修学年と単位数 | | 修得要件 |
|------------|----------|-----|---------|
| | 1年次 | 2年次 | |
| 宗教学特論 | 2 | | 18 単位以上 |
| 聖書学特論 | 2 | | |
| 近代思潮 | 2 | | |
| 現代思潮 | 2 | | |
| 認知科学特論 | 2 | | |
| 法学特論 | 2 | | |
| 制度経済・政策学特論 | 2 | | |
| 教育哲学特論 | 2 | | |
| 宗教学演習 | 2 | | |
| 聖書学演習 | 2 | | |
| 哲学・現代思想演習 | 2 | | |
| 人間存在基礎論演習 | 2 | | |
| 認知科学演習 | 2 | | |
| 法学演習 | 2 | | |
| 制度経済・政策学演習 | 2 | | |
| 教育哲学演習 | 2 | | |
| 人間共生特論 | ② | | |
| 人間共生演習 | ② | | |
| 特別研究 | | ⑧ | |

資格課程（人間学専攻）

【教職課程】

◇取得可能な教育職員専修免許状

指定する一種免許状（基礎免許状）を有する者で、修士の学位を取得し、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得したときは、基礎免許状に対応する専修免許状が取得できます。

| 所有している基礎免許状 | 取得可能な免許状 |
|-----------------|-----------------|
| 中学校教諭一種免許状（社会） | 中学校教諭専修免許状（社会） |
| 高等学校教諭一種免許状（公民） | 高等学校教諭専修免許状（公民） |

◇教育職員専修免許状の取得方法

1. 入学前に上記の免許状（基礎免許状）を所有している場合、専修免許状取得のための科目・最低修得単位数は教職課程カリキュラム表の通りです。要件を満たすように履修計画を立ててください。
2. 取得を希望する方は、決められた時期に「資格課程願」を教務課へ提出することが必要です。また、放棄する場合には「資格課程履修放棄願」を提出することが必要となります。詳細については、ガイダンス等で説明します。

◇教育職員専修免許状申請

1. 教育職員免許状の申請は、所定の科目と単位を修得した者について、本学が一括して「教育職員免許状授与願書」等を宮城県教育委員会へ提出します。
2. 申請手続きについてはガイダンスを行います。また、申請に関して申請手数料を徴収します。（一旦納入した申請料は、いかなる理由においても返還いたしません。）

◇教育職員専修免許状交付

教育職員免許状交付は修了式を予定しています。なお、免許状は全ての都道府県で有効です。

◇教員採用試験

公立学校の教員になるためには、各都道府県が毎年行っている教員採用試験に合格しなければなりません。出願期間や試験日等は各都道府県で異なりますので、詳細は各都道府県の教育委員会にお問い合わせください。

また、私立学校の教員になるためには、学校毎に行われる採用試験に合格しなければなりません。募集等は毎年必ず行われるわけではありませんので、早い時期からの情報収集が必要です。

◇教職課程カリキュラム表

【中等教育課程】

「中学校教諭専修免許状（社会）」・「高等学校教諭専修免許状（公民）」

| 免許法施行に定める 科目区分等 | 授業科目名 | 単位数 | 区分 | 免許取得における 必選 | | 開講 学年 |
|--------------------|------------|---------------|----|----------------|-----------|----------|
| | | | | 中 (社会) | 高 (公民) | |
| 大学が独自に設定する科目 | 宗教学特論 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 聖書学特論 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 近代思潮 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 現代思潮 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 認知科学特論 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 法学特論 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 制度経済・政策学特論 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 教育哲学特論 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 宗教学演習 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 聖書学演習 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 哲学・現代思想演習 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 人間存在基礎論演習 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 認知科学演習 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 法学演習 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| | 制度経済・政策学演習 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 |
| 教育哲学演習 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 | |
| 人間共生特論 | 2 | 専門 | △ | △ | 1 | |
| 免許取得のための最低修得単位数 | | 12 科目 24 単位以上 | | | | |